

文化事業調査結果 一覧

資料⑤

今後の取組・・・A:事業費を増加したもの B:事業費は増加しないが、内容を充実するもの C:昨年度とおおむね同様の内容で開催するもの D:事業費を削減したもの E:廃止したもの
※事業費は決算額であり、平成30年度の事業予算が前年度と比して増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

基本施策	No.	事業名	担当課	H30		今後の取組	左記の理由	H31	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
① 協働による文化活動の推進	1	草津市美術展覧会	生涯学習課	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門による公募型の美術展覧会を実施した。 会期初日には、オープニングコンサートを開催した。 また、草津市文化振興審議会にて検証を行い、今後の方向性について検討を行った。	1,840千円	C	出品者、来場者数が減少傾向にあり、高齢化が進んでいるため改善を行う必要があるが、多くの市民に親しんでいただいている秋の恒例行事となっているため、継続して実施する。	実行委員会の回数を例年の2回から3回に増やし、会場移転時の展覧会改革に関する検討を行う。 あわせて、草津市文化振興審議会においても、今後の方向性等についての検討を行う。	2,025千円
	2	ピワアートコレクション	生涯学習課	-	-	-	新規	コーディネーターを活用し、アーティストに活躍の機会および市民との交流の機会を提供する他、FMくさつと連携した情報発信に努める。	0
	3	立命館びわこ講座	生涯学習課	・2018年度立命館びわこ講座（共催事業） ・テーマ：近江を学ぶ、草津を識る ・担当講師：日比野 光敏（元京都府立大学和食文化研究センター特任教授）、中井 克樹（滋賀県立琵琶湖博物館専門学芸員）、榊蔵 美智子（学生部臨床心理士）、谷 慶子（映像学部准教授）、本郷 真紹（文学部教授） ・全5回（土曜日10:00～12:00）	150千円	C	自治体やサークル、仕事や趣味に生かしたい（生かしている）といった声が多数上がっており、市民の生涯における学びの機会の提供と同時に、地域を知り、地域を支える人づくりへのきっかけとなっているため。	昨年度アンケートより、少子高齢化、人生100年時代、防災など、現代的課題に向けてどうすればいいのか学びたいとの声があったことから、「持続可能な社会に向けて～琵琶湖・草津から発信～」と題して実施するとともに、講座の内容について広く周知する予定。	150千円
	4	草津市民音楽祭	文化ホール	草津市を拠点に活動する公募による音楽団体の発表、交流、研鑽の場として、公募による実行委員会を組織し、運営を行った。吹奏楽、合唱、ピアノ、ジャズ等多様な分野の参加があった。	207千円	C	市内の音楽団体の発表の場（目標）となっており、無料で楽しめる音楽会として、定着しているため継続して実施する。	実行委員会において検討する。	356千円
	5	クレアプラスフェスティバル	文化ホール	市内の中学校、高校、一般バンドが一堂に会するプラスの祭典。実行委員会を組織し、企画を行う。合同演奏を通じて、互いに交流し、客席とステージが一体になる音楽祭。 プラスフェスティバルの関連事業として、アマカホールで青少年アンサンブルコンサートを開催した。	613千円	D	市内で開催されているアンサンブルコンサートの状況を鑑み、事業の整理、統合を図る。	これまでアマカホールで実施していた青少年アンサンブルコンサートをプラスフェスティバルに統合することについて実行委員会に諮る。	677千円
	6	草津市民文化祭	文化ホール	文化協会に対し、舞台演出等をアドバイスし、市民の文化活動を支援した。 芸能（謡曲、邦楽、民謡、マジック等）、展示発表（華道、俳句、写真、トールペイント、ガラスアート）など様々なジャンルの文化団体が日頃の活動発表を行った。（2日間の日程で予定していたが、9月30日の2日目は、台風24号の接近に伴い中止）	382千円	C	市民に定着している秋の恒例行事として、引き続き実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	678千円
	7	草津市合唱祭	文化ホール	草津市合唱連盟と市民公募の実行委員による合唱祭を開催し、合唱連盟による合同合唱や児童合同合唱などプログラムを通じて各団の交流を図った。これまでアマカホールで開催してきたが、参加団体数ならびにホールの客席規模等、平面となる施設の構造等の検証を行い、今年度よりクレアホールでの開催となった。	499千円	B	クレアホールで開催したことにより、舞台動線や音響設備が充実し、観客数、参加団体の増加につながった。次年度は、さらに充実した事業となるよう市民の主体性を生かした事業展開を検討する。	市民のノウハウやネットワークを生かした合唱祭となるよう、合唱連盟が中心となった事業展開を検討する。	456千円
	8	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業（未来創造セミナー等開催費）	UDCBK	産学公民連携を基礎としながら、草津市の未来を考える講座として、アーバンデザインスクールおよび未来創造セミナーを実施する。	450千円	C	産学公民連携を基礎として草津市の未来を考えるためには、中長期的に事業を継続していく必要があるため。	アーバンデザインの要素を今まで以上に特化していくため、未来創造セミナーをアーバンデザインセミナーとして変更した。	1,141千円
	9	くさつ図書館まつり	図書館	市民による実行委員会と図書館を事務局とした協働事業。 本のリサイクル市、手作り遊び・工作、本のカバー貼体験、おはなし会、移動図書館での貸出などを行った。	30千円	C	市民実行委員会との協働事業であり、広く市民に図書館利用を誘う契機となっていることから継続とする。	実行委員会において検討する。	30千円

② 文化施設の活用および充実	10	文化ホール管理運営業務	生涯学習課	指定管理期間：平成29年度～平成31年度 指定管理者と定期的に協議を行い、協定に基づいた適切な管理運営がなされているか点検、確認を行った。	110,299千円	C	平成30年3月に策定した草津市文化振興計画に基づく運営が行えるよう引き続き取り組む。	新しい指定管理（平成32年度～）に向けて、仕様書の内容を検討する。	111,312千円
	11	(仮称)市民総合交流センターへの展示機能付加	生涯学習課	(仮称)市民総合交流センターの完成後、同施設で草津市美術展覧会が実施できるよう、仕様について関係課に要望を行った。	0	C	設計に反映できるよう、引き続き要望を行う。	展覧会に必要な設備等について検討する。	0
	12	創作の場づくり	生涯学習課	クリアホールの一室にある「つどいの広場」の機能が、平成30年4月に南草津にある「ミナクサひろば」に集約されたことに伴い、空きスペースの活用方法を検討した。床暖房が設置されていることから、乳幼児や高齢者、障害者等の利用や、静止している時間が長くなる創作活動等を主な目的とした「活動室」としての貸館を開始した。	0	E	活動室の貸館を開始したため。今後は、利用の拡大に向けた周知に努める。	-	-
	13	アウトリーチ事業	文化ホール	次年度から展開する学校向けのアウトリーチプログラムの開発を行った。	0	A	開発したアウトリーチプログラムの展開を行う。	オリジナルオペレッタ『青花紙のうた』による小学校等へのアウトリーチプログラムを実施する。	2,853千円
③ 情報の収集および発信の充実	14	ラジオロビーコンサート / ワンコインワークショップ『アナウンス講座』	文化ホール	ホールの開かれた事業として、えふえむ草津人気番組「午後は大吟醸」スペシャルとして、毎月第4水曜日はクリアサテライトスタジオから放送。どなたでも楽しめるコンサートプログラムで、クリアホールやアミカホールを拠点に活動している団体を紹介した。併せて、市民パーソナリティ育成事業としてアナウンス講座を開催。話し方、発声などを基礎から学び、1～3月には、市民パーソナリティとして文化芸術の情報発信を行っていただいた。	924千円	D	事業が市民に一定定着してきており、近郊の住民に会場いただいている。今後は、文化活動を担う人材育成に資するため、市民プロデューサーを活用した事業展開を検討する。	市民プロデューサーの活用を図るため、市民がつくるロビーコンサートして、年6回開催予定（えふえむ草津で放送予定）	981千円
	15	草津市文化振興フォーラム	生涯学習課	・基調講演：中川 幾郎 氏（帝塚山大学名誉教授） ・事例報告：衛 紀生 氏（可児市文化創造センター館長兼劇場総監督） ・トークセッション：中川 幾郎 氏、衛 紀生 氏、佐々木 雅幸 氏、教育長 ・草津歌劇団等によるオープニング、エンディングイベント	715千円	E	計画の策定を記念した事業であり、単年度実施のため	-	-
	16	文化振興パンフレット	生涯学習課	秋に開催する市の文化振興事業のイベントや本市の文化的資産の魅力等について紹介した草津市文化振興パンフレットを、8月に作成し、市内公共施設や県内文化施設等の関係機関へ配布した。	154千円	E	計画の策定を記念した事業であり、単年度実施のため。	-	-
	17	アートセンターニュース	文化ホール	アートセンターニュースとして毎月発行。事業実施予定からアミカホール、クリアホール両館の貸館情報までを掲載。市内公共施設、県内文化ホール等に配架。	438千円	C	文化ホールの周知に繋がっているため、引き続き実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	518千円
	18	立命館大学インターンシップ	文化ホール	コミュニティラジオのFMくさつの番組制作を通じた市民パーソナリティの育成を図るため、アナウンス講座ワークショップを開催し、ラジオ番組の制作体験を行った。	0	C	大学生ならではの発想や情報発信により、普段ホールに足を運ばない層やリスナーのファン獲得となっているため、継続して実施する。	市民ホールと地域をつなぐ『文化コーディネーター』の役割を担っていただけるよう、より現場に関わることができる企画を検討する。	0
	19	草津市歴史文化基本構想シンポジウム	歴史文化財課	・日本遺産認定書授与 ・構想の説明：金田章裕 氏（京都大学名誉教授） ・講演：宮口侗迪氏（早稲田大学名誉教授） ・活用事例：キッズシネマの上映 ・パネルディスカッション：金田章裕氏、宮口侗迪氏、岩崎奈緒子氏（京都大学総合博物館館長）、草津市長	599	E	計画の策定に併せて開催した事業であり、単年度実施のため	-	-
	20	草津宿ブックレット製作事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館ブックレットの第一弾として、「宿場町草津」をテーマとしたブックレットを作成した。	350千円	D	令和元年は、作成しない	-	0

④文化活動を担う人材の育成および活用	21	クリエイターズマーケット	生涯学習課	展示／販売／ワークショップの他、食のマルシェやライブなど県内外で活躍するアーティスト、クリエイターによる出店を行った。 作家：10組、飲食：12組、パフォーマンス：6組	アートフェスタに含む	B	市民とアーティスト、アーティスト間の交流が生まれ、さらには、イオンモール草津との連携が生まれるきっかけにもなった。アートフェスタとの連携を図りつつ、より内容を充実させ開催する。	開催規模を拡大し、まちなかに点在する寺社仏閣の活用を検討する。	アートフェスタに含む
	22	アートセンター	文化ホール	アウトリーチの他、市主催事業や地域のイベントにおける出演者のコーディネート、プロデュース、アドバイスをを行った。また、渋川学区より相談を受け、地域独自のまちづくり活動を支援するため、歌の制作手法のアドバイスをを行った。	693千円	A	地域からの依頼に積極的に応えとともに、アウトリーチ事業を積極展開する。	渋川学区からの委託を受け、音頭づくりをサポートする他、引き続き楽曲政策のアドバイスをを行う他、学校等へのアウトリーチを積極的に行う予定。	2,853千円
	23	Jazz Festival in AMICA	文化ホール	市民企画提案事業 ジャズをツールとしたまちづくりコンサートとして立命館大学JAZZクラブと連携しアマカホールで開催してきたコンサートをクレアホールで開催。実行委員会を立ち上げ、公募によるジャズバンドを結成し、地元出身のプロが指導した。本番では共演を果たす。	706千円	B	社会人と学生のコラボレーションにより、世代間交流を図ることができたことから、さらに事業効果を高めることができる組織体制を検討する。	これまでは立命館大学JAZZZクラブが中心となって事業を運営していたが、市内の社会人バンドも含めた実行委員会を結成することを検討する。	864千円
	24	くれあ座	文化ホール	昨年度開催した「くれあ座」邦楽・邦舞の祭典を縮小し、箏曲と日本舞踊部門でワークショップを実施した。アマカホールでの発表を目標に、各コースでの発表とプロ実演家との共演をめざし、稽古を重ね、公演を実施。	715千円	D	隔年開催のため、来年度は実施しない。	隔年開催のため、今年度は開催しない。	0
	25	ウィークエンドコンサート	文化ホール	一流アーティストによる、今後展開するアウトリーチを見据えたプログラムをシリーズ（6月、10月、3月）で構成。演出をプロデュースした。	1,792千円	A	チケット代を廉価に抑えたホールの入り口事業として好評である。クレアホールが開館5周年を迎えるため、特別版としてクレアホールでも開催する。	クレアホール開館5周年を記念し、世界的に活躍する草津出身アーティストの里帰りコンサートを実施。	3,031千円
	26	青花紙担い手セミナー	草津宿街道交流館	草津あおばな会と共催で「あおばな紙担い手セミナー」を実施し、青花紙生産農家の指導を受けながら、アオバナの栽培や青花紙の生産について、一般の方に学んでいただいた。	0	C	新規青花紙を取り巻く状況は変わっておらず、引き続き事業を行なう必要がある。	昨年度は青花紙生産農家の畑で実施したが、今年度はアオバナ栽培を実施している滋賀県立湖南農業高等学校でセミナーを実施する。	0
	(2)	〔再掲〕ピワアートコレクション	生涯学習課	-	-	-	新規	コーディネーターを活用し、アーティストに活躍の機会および市民との交流の機会を提供する他、FMくさつと連携した情報発信に努める。	0
	(3)	〔再掲〕立命館びわこ講座	生涯学習課	・2018年度立命館びわこ講座（共催事業） ・テーマ：近江を学ぶ、草津を識る ・担当講師：日比野 光敏（元京都府立大学和食文化研究センター特任教授）、中井 克樹（滋賀県立琵琶湖博物館専門学芸員）、榊蔵 美智子（学生部臨床心理士）、谷 慶子（映像学部准教授）、本郷 真紹（文学部教授） ・全5回（土曜日10:00～12:00）	150千円	C	自治体やサークル、仕事や趣味に生かしたい（生かしている）といった声が多数上がっており、市民の生涯における学びの機会の提供と同時に、地域を知り、地域を支える人づくりへのきっかけとなっているため。	昨年度アンケートより、少子高齢化、人生100年時代、防災など、現代的課題に向けてどうすればいいのか学びたいとの声があったことから、「持続可能な社会に向けて～琵琶湖・草津から発信～」と題して実施するとともに、計画の概要について周知する予定。	150千円
	(4)	〔再掲〕第34回草津市民音楽祭	文化ホール	草津市を拠点に活動する公募による音楽団体の発表、交流、研鑽の場として、公募による実行委員会を組織し、運営を行った。吹奏楽、合唱、ピアノ、ジャズ等多様な分野の参加があった。	207千円	C	市内の音楽団体の発表の場（目標）となっており、無料で楽しめる音楽会として、定着しているため継続して実施する。	実行委員会において検討する。	356千円
	(7)	〔再掲〕第27回草津市合唱祭	文化ホール	草津市合唱連盟と市民公募の実行委員による合唱祭を開催し、合唱連盟による合同合唱や児童合同合唱などプログラムを通じて各団の交流を図った。これまでアマカホールで開催してきたが、参加団体数ならびにホールの客席規模等、平面となる施設の構造等の検証を行い、今年度よりクレアホールでの開催となった。	499千円	B	クレアホールで開催したことにより、舞台動線や音響設備が充実し、観客数、参加団体の増加につながった。次年度は、さらに充実した事業となるよう市民の主体性を生かした事業展開を検討する。	市民のノウハウやネットワークを生かした合唱祭となるよう、合唱連盟が中心となった事業展開を検討する。	456千円
(14)	〔再掲〕ラジオロビーコンサート ワンコインワークショップ『アナウンス講座』	文化ホール	ホールの開かれた事業として、えふえむ草津人気番組「午後は大吟醸」スペシャルとして、毎月第4水曜日はクレアサテライトスタジオから放送。どなたでも楽しめるコンサートプログラムで、クレアホールやアマカホールを拠点に活動している団体を紹介した。併せて、市民パーソナリティ育成事業としてアナウンス講座を開催。話し方、発声などを基礎から学び、1～3月には、市民パーソナリティとして文化芸術の情報発信を行っていただいた。	924千円	D	事業が市民に一定定着してきており、近郊の住民に来場いただいている。今後は、文化活動を担う人材育成に資するため、市民プロデューサーを活用した事業展開を検討する。	市民プロデューサーの活用を図るため、市民がつくるロビーコンサートとして、年6回開催予定（えふえむ草津で放送予定）	981千円	
(18)	〔再掲〕立命館大学インターンシップ	文化ホール	コミュニティラジオのFMくさつの番組制作を通じた市民パーソナリティの育成を図るため、アナウンス講座ワークショップを開催し、ラジオ番組の制作体験を行った。	0	C	大学生ならではの発想や情報発信により、普段ホールに足を運ばない層やリスナーのファン獲得となっているため、継続して実施する。	市民ホールと地域をつなぐ『文化コーディネーター』の役割を担っていただけるよう、より現場に関わることができる企画を検討する。	0	

⑤ 子どもおよび若者の文化活動の充実	27	アートフェスタくさつ	生涯学習課	市内の文化団体を網羅する草津21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象としたアートワークショップを実施した。県主催の「美の糸ローアートにどぼん！」と同日開催し、まちなかを美術館に見立てて、周遊いただく「回遊式まちなか美術館」として展開した。主な出店団体は、市内の文化団体の他、県立近代美術館、県立陶芸の森、miho museum、草津宿街道交流館、立命館大学学生サークル等	1,296千円	A	令和元年度は、「アートにどぼん！」が他市での開催を予定されているので、事業効果を維持できる方策を検討する。	まちなかに点在する公共空間や文化的資産等の活用を検討する。	1,554千円
	28	草津シネマ塾	生涯学習課	一般社団法人草津に美しい文化芸術を育む会へ委託し、草津の歴史文化、産業などを題材にシナリオを執筆する大人向けの「シナリオ講座」と、小学生が本物の機材を使用した映画撮影に携わる「キッズシネマ塾」を開催。キッズシネマ塾は2日間にわたり開講し、木瓜原遺跡をテーマに撮影したほか、事前学習会として遺跡見学や学芸員による講座を実施した。また、後日、完成した映画の上映会を図書館で行った。	1,344千円	D	昨年度まで市の事業として実施していた大人向けのシナリオ講座については、市内からの参加人数が少ないことや、費用対効果の面から、市事業から外し、委託団体独自事業としての実施を検討いただくため。	大人向けのシナリオ講座を廃止し、子ども向けキッズシネマ塾の充実化を図る。 具体的には、草津市文化振興計画や草津市歴史文化基本構想において地域の文化的資産の活用が求められていることから、あおばなや藤など草津の花を題材にロケーション撮影を各1回ずつ行う。 また、作成した映画の活用方法について検討していく。	1,242千円
	29	市民創作ミュージカル	文化ホール	大阪音楽大学と連携し短期大学部ミュージカルコース教授陣を講師に迎え、草津歌劇団3期生としてオリジナルミュージカル『リトル★オズ』と、草津オリジナルミュージカルショーを制作し、公演を行った。また、市のイベントやNHK、愛知県で開催された「ふるさと全国県人会まつり2018」に出演するなど、市内外に積極的にピーアールを行った。	10,665千円	B	クレアホールが開館5周年を迎えるため、記念事業として実施する。	クレアホール開館5周年記念として、市民から募集した原案を宝塚歌劇団演出家が脚本を書きおろし演出を行う。活動期間内は、さまざまな市関係イベントに参加（平和記念のつどいなど）するとともに、地域資源に着目したミュージカルの制作・公演を行う。	6,861千円
	30	ブックトークコンサート	文化ホール	ラジオロビーコンサートにおいて、夏休み、冬休みのタイミングで、FMくさつパーソナリティによる絵本の読み聞かせを行った。	0	A	クレアホール開館5周年を記念し、過去、制作してきたオリジナルプログラムの積極的な活用を行う。	「ワクワクこどもの広場」の関連事業として開催	1,309千円
	31	ワクワクこどもの広場	文化ホール	-	-	-	新規	クレアホール全館を使った体験ワークショップ、過去ブックトークコンサートで制作したフィルム絵本の上映や子どもから大人まで楽しめるコンサートなどを開催する。	1,309千円
	32	教育プログラム事業	草津宿街道交流館	個人向け教育プログラムを「草津宿みちくさラボ」として充実させ、ポイントカードを発行した。親子向け見学会・工作ワークショップや選任読手を招いた競技かるた大会、落語家を講師とする落語体験を開催したほか、「アートフェスタくさつ」などのイベントへのワークショップブース出展を行った。	19千円	A	内容を充実させると共に、参加者の増加をはかるため。	外部講師を招くなど、ワークショップ内容を充実させるとともに、より多くの子どもたちに参加してもらえるよう、ポイントカードの参加賞を充実させる。	76千円
	33	子ども読書講演会	図書館	渋川小学校と笠縫東小学校の1年生を取材して作られた、児童文学作家かさいまりさんの絵本『えらいこっちゃんのいちねんせい』の発売を記念し、「この本大好きな会、滋賀支部」の協力のもと、かさいまりさんをお招きして講演会を開催した。「心のゆれを絵本にして」と題して、かさいさん自身に作品を読み聞かせていただいたり、作品への想いを語っていただいた。	80千円	C	本や読書に興味をもってもらおう契機となっている事業であり、継続して行っていく。	前年度と同様の内容で実施予定。	80千円
	34	子どもの本の教室	南草津図書館	子どもや大人を対象に、本や読書に興味を持ってもらうことを目的に「子どもの本の教室」を開催。児童文学作家の北川チハル氏を講師に迎え、講師による絵本ライブとワークショップを行った。	50千円	C	子どもたちが読書に興味を持つきっかけづくりとなり、親子で参加することで家庭での読書環境を整えることにも繋がるため継続して実施する。	アンケート結果をもとに、より関心を持ってもらえるテーマ設定を行い、参加しやすい日程を設定し、事前周知に力を入れる。	50千円
	(5)	〔再掲〕第3回クレアプラスフェスティバル	文化ホール	市内の中学校、高校、一般バンドが一堂に会するプラスの祭典。実行委員会を組織し、企画を行う。合同演奏を通じて、互いに交流し、客席とステージが一体になる音楽祭。プラスフェスティバルの関連事業として、アミカホールで青少年アンサンブルコンサートを開催した。	613千円	D	市内で開催されているアンサンブルコンサートの状況等を鑑み、事業の整理、統合を図る。	これまでアミカホールで実施していた青少年アンサンブルコンサートをプラスフェスティバルに統合することについて実行委員会に諮る。	677千円
	(23)	〔再掲〕Jazz Festival in AMICA	文化ホール	市民企画提案事業 ジャズをツールとしたまちづくりコンサートとして立命館大学JAZZクラブと連携しアミカホールで開催してきたコンサートをクレアホールで開催。実行委員会を立ち上げ、公募によるジャズバンドを結成し、地元出身のプロが指導した。本番では共演を果たす。	706千円	B	社会人と学生のコラボレーションにより、世代間交流が図ることができたことから、さらに事業効果を高めることができる組織体制を検討する。	これまでは立命館大学JAZZZクラブが中心となって事業を運営していたが、市内の社会人バンドも含めた実行委員会を結成することを検討する。	864千円
(24)	〔再掲〕くれあ座	文化ホール	昨年度開催した「くれあ座」邦楽・邦舞の祭典を縮小し、箏曲と日本舞踊部門でワークショップを実施した。アミカホールでの発表を目標に、各コースでの発表とプロ実演家との共演をめざし、稽古を重ね、公演を実施。	715千円	D	隔年開催のため、来年度は実施しない。	隔年開催のため、今年度は開催しない。	0	

⑥ 高齢者、障害者等の文化活動の充実	35	重点プロジェクト事業	生涯学習課	-	-	新規	「平成30年度草津市の文化振興に関する意見書」「13万人の文化プロジェクト実施に向けた提案書」に基づき（仮）おでかけシアタープログラム、（仮）バリアフリーな鑑賞会 リラックスパフォーマンスの企画を検討し、試行的に実施する。	93千円	
	36	草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	姉妹都市であるポンティアック市（米国ミシガン州）との交流40周年を記念し、使節団を派遣し、ホームステイ事業を通してさらなる親交を深める事業を実施した。併せて、姉妹都市等との交流や国際理解講座、国際交流イベントの開催等、市民に国際交流の機会を提供し、多文化共生に対する意識の向上を図った。	6,473千円	A	平成31年4月に施行された改正出入国管理法を受けて、本市の外国人住民の増加を見据えて、多文化共生の取り組みの更なる促進を図る必要があるため。	6,513千円	
	37	文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。（絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等）	972千円	C	障害者の社会参加・地域交流の促進のため必要な事業であるため継続して実施する。	講座内容の充実を図るため、実施講座および回数の見直しを行う。	950千円
	38	サマーフェスティバル	子育て相談センター	人形劇、うた、手遊びのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しんだ。	50千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育てで不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	50千円
	39	クリスマスコンサート	子育て相談センター	ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しんだ。	50千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育てで不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	50千円
	(30)	〔再掲〕ブックトークコンサート	文化ホール	ラジオロビーコンサートにおいて、夏休み、冬休みのタイミングで、FMくさつパーソナリティによる絵本の読み聞かせを行った。	0	A	クレアホール開館5周年を記念し、過去、制作してきたオリジナルプログラムの積極的な活用を行う。	「ワクワクこどもの広場」の関連事業として開催	1,309千円
⑦ 学校等における文化活動の充実	40	草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校（14校）5、6年生および中学校（市立6校、私立1校）全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一句投句してもらった。小・中合わせて入賞作品100句程度には、賞状を贈り、さらに、優秀作品については記念品を贈った。また、10月下旬に市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表した。	280千円	C	学校を通じて投句を募集することで、多くの子どもたちからの応募があり、ふるさと意識の醸成や国語教育の充実につながっていることから継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	237千円
	41	学校アート化計画	生涯学習課	草津市文化振興計画における重点プロジェクトに設定している次世代文化体験プロジェクトに繋がるモデル事業として実施。こども園、幼稚園や小学校にアート作品を設置し、子どもたちの変化や反応を観察し、アートが教育にもたらす効果について検証した。	0	C	今年度はモデル事業として実施したため、今後も継続して実施することで、教育とアートの関係性について引き続き検証していく。	今年度は、こども園や幼稚園での効果検証に焦点を当てて事業を実施する予定。	0
	42	劇団四季 こころの劇場	文化ホール	市内小学6年生を対象にした芸術鑑賞会として開催する劇団四季との共催事業「こころの劇場」では「王様の耳はロバの耳」を2公演行い、市内12小学校の事業が鑑賞を行った。地道な学校側への声かけと調整ならびに無料の送迎バスの運行を行い、多くの学校の参加につながった。	943千円	A	子ども達に本物の芸術を鑑賞してもらおう事業として、舞台芸術への関心を深め、豊かな感性を育てる手助けとなるため。	より多くの小学校に参加いただくため、校長会などの機会を通じて周知する。	1,121千円
	43	博学連携事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館、史跡草津宿本陣への学校単位での見学受け入れおよびそれに伴う事前の出前授業を各学校で行った。	0	B	学校見学が一部の学校に留まるため、対象の学校が広がるよう取り組む。	前年度と同様の内容で実施予定。	0
	44	巡回図書「ブックん」の配本	図書館	「環境と算数」、「滋賀県の作家」、「写真集と絵本」、「国語の教科書に出てくる本」等のセットを市内14小学校へ学期毎に巡回し、授業や学校図書館等で活用いただいた。	0	B	セットの重複があることやひととおり巡回したことから、新しい貸出セットを増やすなどして、学校図書館活動の支援を充実させる。	各セットの本の見直しや買い替え等の検討を行う。	0
	45	出張ブックトーク	図書館	司書が学校へ出向き、一つのテーマでいるんなジャンルの本を紹介することで、子どもたちの読書欲求の掘り起こしと読書領域を広げる役割を果たしている。また本の紹介の仕方の参考として、児童、生徒たちによるビブリオバトルにも役立っている。	0	C	子どもの読書推進と学校図書館の活動支援の一環として、出張ブックトーク未実施の学校にも出向けるように継続して行う。	前年度と同様の内容で実施予定。	0
	46	くさつビブリオバトル	学校政策推進課	一般、大学生は1人5分、小中学生は1人3分の持ち時間で参加者にお気に入りの本を紹介し、最も読みたい1冊を聴衆が投票する書評合戦。一般の部、大学生の部、英語の部、小中学校の部の4部門で開催。	40千円	B	H25より事業が開始し、3年目からは市内小中学校すべてから出場者があったり、それぞれの学校で校内ビブリオバトルを年間指導計画に位置付けたりする等、市内小中学校でのますますの定着が見られるため継続して実施する。	小中学生の部の開票時に教師によるビブリオバトルを実施する他、英語の部に中学生も挑戦する予定。	40千円
	47	草津市青少年美術展覧会	学校政策推進課	本市小・中学校から平面・立体・書写作品を、幼稚園や保育所などから平面・立体作品を草津市役所2階特大会議室展示し、広く一般に公開した。また、推奨作品を草津市のホームページに「草津市青少年美術展推奨作品集」として掲載した。	406千円	C	56回続く草津市青少年美術展覧会は、草津市の子どもたちだけでなく、広く市民に認知され、継続への期待が大きいため継続して実施する。	これまで1日で行っていた作品搬入期間を2日間とし、作品搬入をスムーズに行えるようにする。	407千円
(13)	〔再掲〕アウトリーチ事業	文化ホール	次年度から展開する学校向けのアウトリーチプログラムの開発を行った。	0	A	開発したアウトリーチプログラムの展開を行う。	オリジナルオペレッタ『青花紙のうた』による小学校等へのアウトリーチプログラムを実施する。	2,853千円	

⑧文化によるまちづくりの推進	48	星降る映画館	生涯学習課	草津川跡地公園de愛ひろばのイベントスペースを活用して、屋外映画館を実施した。子どもが楽しめる映画として「パンダコパンダ」、子どもも大人も楽しめる映画として「シェフ」の2作を上映した。上映前には、ライブパフォーマンスを開催し、わくわく体験広場等との隙間の時間を埋め、映画への期待感を高めた。	1,307千円	B	多数の媒体による取材があり、草津市のPRおよび中心市街地の活性化につながっているため、大学生との連携等により更なる事業の充実につなげる。	大学生と連携しながら、より多くの方に楽しんでいただける空間づくりを検討する。	1,397千円
	49	草津宿場まつり	商工観光労政課	第50回記念ということで、前日祭を開催し、クレアホールで和装パフォーマンスコンテストおよび宿場まつりサミット、立木神社で草津能の夕べを行った。また、当日祭では、時代行列の主要役柄に宝塚歌劇団OBを起用するとともに、友好交流都市等によるパレードを行った。	15,000千円	C	本市の春のイベントとして定着しており、宿場町・草津を市内外にアピールする効果が得られているため、引き続き継続して実施する。	4月28日(日)の単日開催とする。昨年度実施した薪能・かごかきレースについては中止し、新たに草津パレードの復活、新たなステージ等の新規事業を実施する。また、草津川跡地公園de愛ひろばにおいて子ども向けのイベントを複数実施し、ファミリー層の誘客を図る。時代行列では、一昨年度までと同様に公募により主要役柄を選出し、新たに新選組を加えた総勢約120名	13,500千円
	50	草津街あかり華あかり夢あかり	商工観光労政課	あかり銀河、あかりART展、陰影礼賛、トワイライトコンサートなどの各種取組を実施した。	3,300千円	C	秋の風物詩として定着しつつあるイベントで、普段とは違ったまちの景色を楽しみながら魅力を再発見し、愛着を持ってもらうことで地域および商店街の発展に繋げるため、継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	3,300千円
	51	草津版ヘルスツーリズム実証事業	商工観光労政課	本市における着地型観光の商品化を目指し、市内事業者が参画して8回のモニターツアー、2回のワークショップを実施することで、観光資源の発掘・磨き上げを行った。	4,000千円	C	将来的に観光物産協会が運営主体となって事業が継続できるよう、今後も商品造成・観光資源の磨き上げを実施し、運営体制を整えていく必要があるため。	昨年の課題を踏まえ、観光物産協会が運営主体となって事業が継続できるよう、運営体制を構築していく。	4,000千円
	52	出合いバス運行事業	商工観光労政課	JR草津駅から、老杉神社、三大神社、芦浦観音寺等を周遊するバスを走らせ、着地型観光の振興や二次交通の改善に努めた。	200千円	A	利用者数も多く、着地型観光の振興や二次交通の改善に資することができたため。	JR草津駅発着から常盤まちづくりセンタ発着に発着に変更するとともに、周遊するスポットやバスの便数の拡大を行う。	382千円
	53	みんなdeつなご 草津まちイルミ	都市再生課	夜の草津を回遊してもらうため、草津駅周辺の商業施設と協力し、まちなかをイルミネーションで彩るとともに、スタンプラリーを実施し駅周辺を散策してもらえる仕掛けづくりを行った。	2,000千円	C	イベントを毎年開催することで、草津の冬の風物詩として定着しつつあるため、引き続き継続していく。	イルミネーションの設置位置の見直し、新設、増設や来場者参加型のイベントについて、草津市中心市街地活性化協議会の草津駅前賑わい創出プロジェクトにて検討を行う。	2,000千円
	54	草津小市	都市再生課	農家や生産者直売の野菜、米、卵、豆腐のほかに、作家の木工カトラリー、アクセサリーなどの販売を行った。また、しめ縄づくりやイラストなどの展示、販売も行い、東海道草津宿の歴史話などをえふえむ草津でラジオ生放送した。	673千円	A	一昨年度、昨年度と好評であり、本陣周辺エリアにおける賑わい創出に寄与しているため、イベント内容を拡大して実施予定。	出店者数やイベント内容を拡大予定。	800千円
	(35)	〔再掲〕重点プロジェクト事業	生涯学習課	-	-	-	新規	「平成30年度草津市の文化振興に関する意見書」「13万人の文化プロジェクト実施に向けた提案書」に基づき(仮)おでかけシアタープログラム、(仮)バリアフリーな鑑賞会 リラックスパフォーマンスの企画を検討し、試行的に実施する。	93千円
	(37)	〔再掲〕文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。(絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等)	1,186千円	C	障害者の社会参加・地域交流の促進のため必要な事業である。	講座内容の充実を図るため、実施講座および回数の見直しを行う。	950千円
	(38)	〔再掲〕サマーフェスティバル	子育て相談センター	人形劇、うた、手遊びのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しむ	50千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。	特になし(同様のイベントを実施予定)	50千円
	(39)	〔再掲〕クリスマスコンサート	子育て相談センター	ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しむ	50千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。	特になし(同様のイベントを実施予定)	50千円
	(41)	〔再掲〕学校アート化計画	生涯学習課	草津市文化振興計画における重点プロジェクトに設定している次世代文化体験プロジェクトに繋がるモデル事業として実施。こども園、幼稚園や小学校にアート作品を設置し、子どもたちの変化や反応を観察し、アートが教育にもたらす効果について検証した。	0	C	今年度はモデル事業として実施したため、今後も継続して実施することで、教育とアートの関係性について引き続き検証していく。	今年度は、こども園や幼稚園での効果検証に焦点を当てて事業を実施する予定。	0

⑨ 文化を通じた出会いおよび交流の創出	55	みなくさまつり	商工観光労政課	立命館大学、企業・団体、地域、消防などのブースや、くさつビブリオバトルなどの各種取組を実施した。	2,300千円	C	地元企業、町内、立命館大学、行政、商工会議所などがそれぞれ知恵を出し合い、強い結束力をもって開催されており、これからの南草津のまちづくりの大きな力となるため継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	2,300千円
	56	納涼まつり	商工観光労政課	平成30年度については台風の接近により中止	392千円	E	草津納涼まつり実行委員会において、平成31年度についてはいったん中止とする決定がなされたため。	当該年度については中止とする。	650千円
	(8)	〔再掲〕アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業（未来創造セミナー等開催費）	UDCBK	産学公民連携を基礎としながら、草津市の未来を考える講座として、アーバンデザインスクールおよび未来創造セミナーを実施する。	450千円	C	産学公民連携を基礎として草津市の未来を考えるためには、中長期的に事業を継続していく必要があるため。	アーバンデザインの要素を今まで以上に特化していくため、未来創造セミナーをアーバンデザインセミナーとして変更した。	1,141千円
	(21)	〔再掲〕クリエイターズマーケット	生涯学習課	展示／販売／ワークショップの他、食のマルシェやライブなど県内外で活躍するアーティスト、クリエイターによる出店を行った。 作家：10組、飲食：12組、パフォーマンス：6組	アートフェスタに含む	B	市民とアーティスト、アーティスト間の交流が生まれ、さらには、イオンモール草津との連携が生まれるきっかけにもなった。アートフェスタとの連携を図りつつ、より内容を充実させ開催する。	開催規模を拡大し、まちなかに点在する寺社仏閣の活用を検討する。	アートフェスタに含む
	(27)	〔再掲〕アートフェスタくさつ	生涯学習課	市内の文化団体を網羅する草津21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象としたアートワークショップを実施した。県主催の「美の糸ローアートにどぼん！」と同日開催し、まちなかを美術館に見立てて、周遊いただく「回遊式まちなか美術館」として展開した。主な出店団体は、市内の文化団体の他、県立近代美術館、県立陶芸の森、miho museum、草津宿街道交流館、立命館大学学生サークル等	1,296千円	A	令和元年度は、「アートにどぼん！」が他市での開催を予定されているので、事業効果を維持できる方策を検討する。	まちなかに点在する公共空間や文化的資産等の活用を検討する。	1,554千円
	(36)	〔再掲〕草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	姉妹都市であるポンティアック市（米国ミシガン州）との交流40周年を記念し、使節団を派遣し、ホームステイ事業を通してさらなる親交を深める事業を実施した。併せて、姉妹都市等との交流や国際理解講座、国際交流イベントの開催等、市民に国際交流の機会を提供し、多文化共生に対する意識の向上を図った。	6,473千円	A	平成31年4月に施行された改正出入国管理法を受けて、本市の外国人住民の増加を見据えて、多文化共生の取り組みの更なる促進を図る必要があるため。	ポンティアック市への使節団派遣を除く左記事業に加え、今後の外国人住民の増加を見据え、日本語教室の開催や指導者の育成など日本語教育の充実を図る。さらにUDCBKと協力し、多文化交流会やセミナーを開催し、情報共有を行うことで多文化コミュニティ形成の一助となるよう努める。	6,513千円
(46)	〔再掲〕くさつビブリオバトル	学校政策推進課	一般、大学生は1人5分、小中学生は1人3分の持ち時間で参加者にお気に入りの本を紹介し、最も読みたい1冊を聴衆が投票する書評合戦。一般の部、大学生の部、英語の部、小中学校の部の4部門で競うもの。	40千円	C	H25より事業が開始し、3年目からは市内小中学校すべてから出場者があったり、それぞれの学校で校内ビブリオバトルを年間指導計画に位置付けたりする等、市内小中学校でのますますの定着が見られるため。	・小中学生の部の開票時に教師によるビブリオバトルを実施 ・英語の部に中学生も挑戦	40千円	

⑩ 文化的 資産 の 継承 および 活用	57	俳句入門講座	生涯学習課	初心者を対象に、俳句の基礎を学ぶ全4回の連続講座を開催。うち1回は、史跡草津宿本陣や草津宿街道交流館で現地学習を行い、草津の歴史や文化に触れたあとに句を詠み、講師から句評を受けた。	57千円	C	受講者による新句会が設立されており、俳句人口の拡大につながっていることから、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	53千円
	58	俳句ing&ウォーキング	生涯学習課	今年度は、景観まちあるき事業との共催。旧東海道の矢橋の渡し分岐から、天井川（旧草津川）の歴史を巡りながら、草津宿の玄関（黒門）を通り、草津川跡地公園までの道のりを歩いた。ボランティアガイドの案内で、街道沿いの路地裏も探訪。その後、ミニ句会を催した。	22千円	E	民間の自主性を尊重するため、草津俳句連盟の自主事業としていただく方向で協議中。	-	-
	59	ふるさと俳句会	生涯学習課	年4回、広報くさつや地域まちづくりセンター等において投句を募集し、広報くさつにおいて優秀作を発表する。	37千円	C	広報紙の紙面を活用していることで、毎回、多数の市民から応募があり、俳句のまちづくり事業のPRにつながっていることから、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	40千円
	60	草津あおばな会運営費補助事業	農林水産課	①「第14回草津あおばなフェスタ」（H30.7.7）あおばな絞染め体験やおおばなを使った押し花作品、塗り絵体験、あおばな商品の販売など、草津市の花「あおばな」の魅力を体感していただいた。 ②啓発冊子の作成・配布や市関係施設への啓発用あおばな苗配布等により啓発を行った。（通年）	600千円	C	「草津あおばなフェスタ」について、H29年度から会場をイオンモール草津へ変更したこともあり、多くの方に草津市の花「あおばな」を知って、体験していただいた。今後もイオンモール草津を会場とし継続して、あおばなの歴史や魅力を伝えていきたい。	①「第15回草津あおばなフェスタ」（R元.7.6） ・あおばな押し花を使った体験コーナーの充実 ②啓発冊子の改訂（通年）	600千円
	61	文化財保護助成事業	歴史文化財課	指定文化財の所有者等に対し、文化財保存管理に係る補助を行い、当該文化財の保護継承等を図る。	1,620千円	A	文化財保護助成事業は地域の貴重な文化財を適切に保存・活用するうえで必要であるため、今後も継続して事業を進めていく必要がある。	日本遺産に認定された文化財に係る補助事業の上限を、補助対象事業の総額の内「1/2」から「2/3」に改めた。	1,804千円
	62	くさつ・歴史発見塾開催事業	草津宿街道交流館	秋季テーマ展「草津宿珍客往来」に関連して、「往来」をテーマとし、大学教授や博物館館長・学芸員を招いて全5回講座を開催した。	160千円	C	引き続き普及啓発を行っていくため。	昨年度までは冬季に集中開催していたが、開催時期を通年に分散させ、より多くの方に参加していただくため会場も草津宿街道交流館のほか、史跡草津宿本陣、草津市立市民交流プラザを利用するとともに、利用しやすい時間帯を設定する。	160千円
	63	草津宿街道交流館テーマ展開催事業	草津宿街道交流館	①草津宿街道交流館 秋季テーマ展「草津宿珍客往来」 ②草津宿街道交流館・滋賀県立近代美術館・琵琶湖文化館共催「旅する画僧・金谷 一近江が生んだ奇オー」	475千円	A	今年度は開館20周年にあたるため、これまでのように個別テーマを設けるのではなく、「草津」という共通テーマで1年を通して、展示を開催し、それぞれにイベントも実施する。	開館20周年を迎えるにあたり、「草津」という大きな共通テーマに基づき、1年を通じて草津の歴史や文化を発信する。また、それぞれの展示に合わせ、関連イベントも実施する。	2,334千円
	64	草津宿本陣歴史資料調査	草津宿街道交流館	草津宿本陣に残る歴史資料の調査を実施する。3か年計画で有識者による調査委員会を設置し、調査員・調査補助員を置いて、資料全体の整理・調査を行う。	2,031千円	C	引き続き、草津宿本陣に残る歴史資料の調査を実施するため。	前年度と同様の内容で実施予定。	2,041千円
	65	草津宿本陣結婚式	草津宿街道交流館	草津市観光物産協会に加盟するホテルが史跡草津宿本陣を会場として結婚式を行なう。 また、結婚式の前撮りの撮影を史跡草津宿本陣で行なう。	0	C	結婚式のの前撮りなどの需要が高く、今後も史跡草津宿本陣に親しみを持ってもらう機会として期待できるため。	前年度と同様の内容で実施予定。	0
	66	史跡草津宿本陣 特別開館「草津宿本陣×影絵」	史跡草津宿本陣	草津納涼まつりに合わせて夜間（18：00～21：00）に特別開館する予定であったが、大雨により中止となったため、「美の糸ローアートにどぼん！2018」に合わせて開催。本陣座敷部・楽座館等で影絵の演出を行った。	0	C	若年層を含めた多くの来館者が得られたため。	草津納涼まつりに合わせて夜間（18：00～21：00）に特別開館する。本陣座敷部・楽座館等で影絵の演出を行う。	0
	67	本陣楽座・伝統文化に触れるワークショップ事業	史跡草津宿本陣	上方落語協会所属の落語家が出演する月一回の「本陣楽座 落語会」、年一回の「本陣楽座 落語会 特別版」、和楽器の演奏会「本陣楽座 和音会」を開催。	821千円	C	引き続き普及啓発を行っていくため。	鑑賞にとどまらず、体験・ワークショップを重点的に盛り込んだイベントを企画する。	799千円
	68	本陣四季彩々事業	史跡草津宿本陣	夏の段「夏休み！クイズラリー」、秋の段「本陣を訪れた幕末維新」、冬の段「年のはじめ」、春の段「梅の花と桃の節句」を開催。各回、美術品や生け花などの設え、展示、ワークショップなどをそれぞれ開催した。	120千円	C	若年層を含めた多くの来館者が得られたため。	内容およびチラシの発行回数、ワークショップに講師を招く回数を増やす。	46千円
	(20)	〔再掲〕草津宿ブックレット製作事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館ブックレットの第一弾として、「宿場町草津」をテーマとしたブックレットを作成した。	350千円	D	令和元年は、作成しない	-	0
	(26)	〔再掲〕青花紙担い手セミナー	草津宿街道交流館	草津あおばな会と共催で「あおばな紙担い手セミナー」を実施し、青花紙生産農家の指導を受けながら、アオバナの栽培や青花紙の生産について、一般の方に学んでいただいた。	0	C	新規青花紙を取り巻く状況は変わっておらず、引き続き事業を行なう必要がある。	昨年度は青花紙生産農家の畑で実施したが、今年度はアオバナ栽培を実施している滋賀県立湖南農業高等学校でセミナーを実施する。	0
(28)	〔再掲〕草津シネマ塾	生涯学習課	一般社団法人草津に美しい文化芸術を育む会へ委託し、草津の歴史文化、産業などを題材にシナリオを執筆する大人向けの「シナリオ講座」と、小学生が本物の機材を使用した映画撮影に携わる「キッズシネマ塾」を開催。キッズシネマ塾は2日間にわたり開講し、木瓜原遺跡をテーマに撮影したほか、事前学習会として遺跡見学や学芸員による講座を実施した。また、後日、完成した映画の上映会を図書館で行った。	1,344千円	D	昨年度まで市の事業として実施していた大人向けのシナリオ講座については、市内からの参加人数が少ないことや、費用対効果の面から、市事業から外し、委託団体独自事業としての実施を検討いただくため。	大人向けのシナリオ講座を廃止し、子ども向けキッズシネマ塾の充実化を図る。 具体的には、草津市文化振興計画や草津市歴史文化基本構想において地域の文化的資産の活用が求められていることから、あおばなや藤など草津の花を題材にロケーション撮影を各1回ずつ行う。 また、作成した映画の活用方法について検討していく。	1,242千円	

(29)	〔再掲〕市民創作ミュージカル	文化ホール	大阪音楽大学と連携し短期大学部ミュージカルコース教授陣を講師に迎え、草津歌劇団3期生としてオリジナルミュージカル『リトル★オズ』と、草津オリジナルミュージカルショーを制作し、公演を行った。また、市のイベントやNHK、愛知県で開催された「ふるさと全国県人会まつり2018」に出演するなど、市内外に積極的にピーアールを行った。	10,665千円	B	クレアホールが開館5周年を迎えるため、記念事業として実施する。	クレアホール開館5周年記念として、市民から募集した原案を宝塚歌劇団演出家が脚本を書きおろし演出を行う。活動期間内は、さまざまな市関係イベントに参加（平和記念のつどいなど）するとともに、地域資源に着目したミュージカルの制作・公演を行う。	6,861千円
(32)	〔再掲〕教育プログラム事業	草津宿街道交流館	個人向け教育プログラムを「草津宿みちくさラボ」として充実させ、ポイントカードを発行した。親子向け見学会・工作ワークショップや選任読手を招いた競技かるた大会、落語家を講師とする落語体験を開催したほか、「アートフェスタくさつ」などのイベントへのワークショップブース出展を行った。	19千円	A	内容を充実させると共に、参加者の増加をはかるため。	外部講師を招くなど、ワークショップ内容を充実させるとともに、より多くの子どもたちに参加してもらえるよう、ポイントカードの参加賞を充実させる。	76千円
(40)	〔再掲〕草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校（14校）5、6年生および中学校（市立6校、私立1校）全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一句投句してもらった。小・中合わせて入賞作品100句程度には、賞状を贈り、さらに、優秀作品については記念品を贈った。また、10月下旬に市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表した。	280千円	C	学校を通じて投句を募集することで、多くの子どもたちからの応募があり、ふるさと意識の醸成や国語教育の充実につながっていることから継続して実施する。	特になし	237千円
(43)	〔再掲〕博学連携事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館、史跡草津宿本陣への学校単位での見学受け入れおよびそれに伴う事前の出前授業を各学校で行った。	0	B	学校見学が一部の学校に留まるため、対象の学校が広がるよう取り組む。	なし	0
(49)	〔再掲〕草津宿場まつり	商工観光労政課	第50回記念ということで、前日祭を開催し、クレアホールで和装パフォーマンスコンテストおよび宿場まつりサミット、立木神社で草津能の夕べを行った。また、当日祭では、時代行列の主要役柄に宝塚歌劇団OBを起用するとともに、友好交流都市等によるパレードを行った。	15,000千円	C	本市の春のイベントとして定着しており、宿場町・草津を市内外にアピールする効果が得られているため、引き続き継続して実施する。	4月28日（日）の単日開催とする。昨年度実施した薪能・かごかきレースについては中止し、新たに草津パレードの復活、新たなステージ等の新規事業を実施する。また、草津川跡地公園de愛ひろばにおいて子ども向けのイベントを複数実施し、ファミリー層の誘客を図る。時代行列では、一昨年度までと同様に公募により主要役柄を選出し、新たに新選組を加えた総勢約120名	13,500千円
(50)	〔再掲〕草津街あかり華あかり夢あかり	商工観光労政課	あかり銀河、あかりART展、陰影礼賛、トワイライトコンサートなどの各種取組を実施した。	3,300千円	C	秋の風物詩として定着しつつあるイベントで、普段とは違ったまちの景色を楽しみながら魅力を再発見し、愛着を持ってもらうことで地域および商店街の発展に繋げるため、継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	3,300千円
(51)	〔再掲〕草津版ヘルズツーリズム実証事業	商工観光労政課	本市における着地型観光の商品化を目指し、市内事業者が参画して8回のモニターツアー、2回のワークショップを実施することで、観光資源の発掘・磨き上げを行った。	4,000千円	C	将来的に観光物産協会が運営主体となって事業が継続できるよう、今後も商品造成・観光資源の磨き上げを実施し、運営体制を整えていく必要があるため。	昨年の課題を踏まえ、観光物産協会が運営主体となって事業が継続できるよう、運営体制を構築していく。	4,000千円
(52)	〔再掲〕常盤周遊バス	商工観光労政課	JR草津駅から、老杉神社、三大神社、芦浦観音寺等を周遊するバスを走らせ、着地型観光の振興や二次交通の改善に努めた。	200千円	C	利用者数も多く、着地型観光の振興や二次交通の改善に資することができたため。	JR草津駅発着から常盤まちづくりセンター発着に変更するとともに、周遊するスポットやバスの便数の拡大を行う。	382千円
(53)	〔再掲〕草津小市	都市再生課	農家や生産者直売の野菜、米、卵、豆腐などの販売。作家の木工カトラリー、アクセサリーなどの販売。しめ縄づくりやイラストなど展示、販売。東海道草津宿の歴史話などをえふえむ草津でラジオ生放送。お寺カフェ。ぜんざい、おむすび、七輪焼きの販売。	673千円	B	一昨年度、昨年度と好評であり、本陣周辺エリアにおける賑わい創出に寄与しているため、イベント内容を拡大して実施予定。	出店者数やイベント内容を拡大予定。	800千円

A	12事業
B	8事業
C	34事業
D	5事業
E	6事業
計	65事業

新規事業:3事業

既存事業:65事業